

みんなが学ぶ 「医療福祉」一日体験

ジュニアメディカルスクール バスツアー実施報告

「ジュニアメディカルスクールバスツアー～医療福祉人になる～」が10月6日(土)、学校法人川崎学園(岡山県倉敷市)で開催されました。広島県東部から中学生とその保護者20組40人が参加。生徒は、現代医学教育博物館を探検し、川崎医療福祉大学で人々の「健康」や「安心」のために働く医療福祉の職種を体験しました。

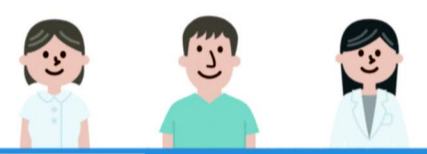


現代医学教育博物館を探検

川崎学園に到着した一行は川崎医科大学に併設する現代医学教育博物館(メディカルミュージアム、通称MM)の講堂で、開講式に臨みました。その後、ワークシートを持って、人体や健康に関するさまざまな展示を見ながらクイズを解き、館内を探検しました。

医療福祉の職種を体験して

生徒たちは希望のコースに沿って複数の職種を体験。在学生のサポートを受けながら、大学教員から専門的な仕事の一端を学びました。



のみ込む力をテスト



「話す、聞く、食べる」機能のリハビリに関わる言語聴覚士について学びました。連続して唾液をのみ込んだり、スポンジブラシで口の中を拭いたりして、健康維持のために口の中を清潔にすることや、のみ込む力が大切だと知りました。

学科 感覚矯正学科(言語聴覚専攻)

持久力を自転車で測定



酸素の摂取量を測れるマスクを着けて自転車を6分間こぎながら、心拍数もあわせて測定することで、自分の持久力を知ることができました。病院や福祉施設で年齢や体力に応じた運動プログラムを作り、指導する健康運動指導士に興味を持ちました。

学科 健康体育学科

聴診器で体の状態をチェック



看護師のさまざまな仕事のうち、聴診器の使い方を体験しました。特別な人形を使って、呼吸のリズムの違いや心臓の動く音に雑音が含まれていないかどうかなどを聞き分けました。患者さんの状態に常に気を配る大切な職種だと感じました。

学科 保健看護学科

視力の検査方法を体験



白内障や斜視の見え方を疑似体験するシミュレーションレンズをかけてみました。視能訓練士は視力検査や眼底カメラなどで見え方を評価し、視覚的補助具を選んだり、弱視の人の視能訓練をしたりするそうです。目の大切さをあらためて感じました。

学科 感覚矯正学科(視能矯正専攻)

電子カルテにデータ入力



医療データサイエンティストという職種は今回初めて知りました。医療データを処理して、医者が治療方針を決める時の判断材料を提供するのが仕事です。パソコン上の電子カルテに入力し、グラフ化する作業を体験しました。少し緊張しました。

学科 医療情報学科

絵画表現で心理を学ぶ



画用紙に五つの枠を設け、お母さんと交互に絵を描き、それに沿ったストーリーを考えました。「表現療法」という手法です。臨床心理士は、患者さんの心の動きをつかみ、上手なコミュニケーションがとれるよう助言する仕事だと知りました。

学科 臨床心理学科

診察の内容を聞いて要約



今回、医療秘書の仕事学びました。医師の事務作業を代行したり、チーム医療の段取りをしたりするリーダー役です。診察の映像を見ながら内容を要約しました。専門用語を聞き取って素早くまとめなければいけないところが難しかったです。

学科 医療秘書学科

患者さんの困り事に対応



医療ソーシャルワーカーの仕事は病院などで不安をかかえる患者さんや家族の相談に乗ってあげることです。入院費や介護制度などの質問に答える体験をしました。制度について、どんなふうに伝えればいいのかについて教えてもらいました。

学科 医療福祉学科

医療用の画像作りに挑戦



診療放射線技師は、人の体内の画像を立体にして、診断しやすくする専門家です。高性能コンピューターを使い、データを3D化していく作業を体験しました。最先端のコンピューターの処理の早さを実感。技術の進歩はすごいと思いました。

学科 診療放射線技術学科

自助具で生活改善



身体に障がいのある人の生活を支える理学療法士や作業療法士の仕事について学びました。足に手が届かない人が靴下をはく自助具を使って、身体が不自由な人の感覚を体験してみ、その大変さとそれを支えることの大切さがよくわかりました。

学科 リハビリテーション学科(理学療法専攻・作業療法専攻)

白血病の血液の変化を観察



顕微鏡を使って血液の中の赤血球や血小板などを観察しました。特に血液のがんと呼ばれる白血病では、血液中の細胞が変化していて驚きました。病気の診断や治療に必要な検査情報を分析・評価する臨床検査技師の仕事に興味を持ちました。

学科 臨床検査学科

医療機器の操作を体験



臨床工学技士は、医療器具を扱う専門家です。人工心肺装置、人工呼吸器、人工透析装置、電気メスなど、実際に医療現場で使う器具の操作方法を教えてくださいました。命を守るために、道具を正確に使いこなすことが大切だと学びました。

学科 臨床工学科

○企画・制作：中国新聞備後本社 営業部